

# 地球に ”イイコト” 始めよう

## ◆12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ

1992年(平成4年)6月11日。  
 ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた国連の地球環境サミット。  
 カナダ人の12歳の女の子が、いならぶ世界各国のリーダーたちを前に、わずか6分間のスピーチをしました。その言葉は、人々の強い感動を呼び、世界中を駆けめぐり、いつしか「リオの伝説のスピーチ」と呼ばれるようになりました。今回は、その素晴らしいスピーチを一部ご紹介します。 参考：ナマケモノ倶楽部ホームページなど



「こんにちは、セヴァン・スズキです。エコを代表してお話しします。今日の私の話には、裏も表もありません。なぜって、私が環境運動をしているのは、私自身の未来のため。自分の未来を失うことは、選挙で負けたら、株で損したりするのは訳が違いますから。私がここに立って話しているのは、未来に生きる子どもたちのためです。そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。

太陽のもとにでるのが私は怖い。オゾン層に穴があいたから。呼吸をすることさえこわい。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。父とよくバンクーバーで釣りをしたものです。数年前に。体中ガンでおかされた魚に出会うまで。そして今、動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを、私たちは耳にします。それらは、もう永遠に戻ってはこないんです。

私の世代には、夢があります。いつか野生の動物たちの群れや、たくさんの鳥や蝶が舞うジャングルを見ることです。でも、私の子どもたちの世代は、もうそんな夢を持つこともできなくなるのではないかと。あなたがたは、私ぐらいの年齢のとき、そんなことを心配したことがありますか。

**あなたがた大人にも知ってほしいんです。あなたがたも良い解決法なんて持っていないというのを。** オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのかあなたは知らないでしょう。

**どうやって直すのかわからないものを、壊しつづけるのはもうやめてください。**

ここでは、あなたがたは政府とか企業とか団体とかの代表でしょう。でも本当は、あなたがたも誰かの母親であり、父親であり、姉妹であり、兄弟であり、おばであり、おじなんです。そしてあなたがたの誰もが、誰かの子どもなんです。

私はまだ子どもですが、ここにいる私たちみんなが同じ大きな家族の一員であることを知っています。3千万種類の生物からなる大家族です。国境や各国の政府がどんなに私たちを分け隔てようとしても、このことは変えようがありません。

私は怒っています。でも、自分を見失ってはいません。私は怖い。でも、自分の気持ちを世界中に伝えることを、私は怖れません。

エコ：子ども環境運動(エンヴァイロメンタル・チルドレンズ・オーガニゼーション)

2日前ここブラジルで、家のないストリートチルドレンと出会い、私たちはショックを受けました。ひとりの子どもが私たちにこう言いました。「ほくが金持ちだったらなあ。もしそうなら、家のない子すべてに、食べ物と、着る物と、薬と、住む場所と、やさしさと愛情をあげるのに」**家もなにもないひとりの子どもが、分かちあうことを考えているというのに、すべてを持っている私たちがこんなに欲が深いのは、いったいどうしてなのでしょう。**

もし戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えばこの地球は素晴らしい星になるでしょう。学校で、いや、幼稚園でさえ、あなたがた大人は私たちに、世の中でどうふるまうかを教えてください。たとえば、○争いをしないこと。○話し合いで解決すること。○他人を尊重すること。○明らかしたら自分で片づけること。○他の生き物をむやみに傷つけないこと。○分かちあうこと。○そして欲ばらないこと。**ならばなぜ、あなたがたは、私たちにするなどということをしているんですか。**なぜあなたがたがこうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。そしていったい誰のためにやっているのか。あなたがたはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち生きていくのかを決めているんです。

**あなたがたはいつも私たちが愛していると言います。しかし、私は言わせてもらいたい。もしその言葉が本当なら、どうか、本当だということを「行動」で示してください。**

最後まで私の話を聞いてくださってありがとうございました

このわずか6分間のスピーチを聴いた各国の代表者たちは、全員が大きな拍手で彼女を称えたと言います。その後、このスピーチは世界中に伝わり、大きな反響を巻き起こしました。一人の少女が文字通り世界を変えたのです。この少女セヴァン・スズキさんは、国連地球憲章の策定作業に青年代表として携わり、また各国での講演活動など、現在も世界中で環境保護を呼びかける活動を行っています。

山本博昭さん 田代地区  
 静岡県地球温暖化防止活動推進員  
 温暖化防止地域協議会エコミュー  
 大井事務局長。また、あるときはエ  
 コミューマンとしてイベントなどで  
 活躍中。平成18年度県STOP温暖化  
 アクションキャンペーンランプリ  
 を受賞。第1回エコ検定合格者。



## 長年にわたる福祉活動が認められ善行賞を受賞

### 川根本町赤十字奉仕団が第29回善行賞を受賞し町長に報告

地域に貢献している団体とその行為を称え、県民に広く紹介するため行われている静岡新聞社・静岡放送の「善行賞」。今年度の受賞者に、本川根地区での配食サービスなどの福祉活動を行っていた「川根本町赤十字奉仕団」が選ばれました。

11月2日、受賞の報告のため杉山町長のもとを訪れた赤十字奉仕団の皆さんは町長との歓談の中で「活動を始めたばかりの頃は、車に乗れる人がなくて、オートバイと徒歩で、すべてのお宅をまわりました。長く続けてこられたのは、皆さんの喜ぶ顔があったから。私たちにとっても生きがいでした」など受賞の喜びを語りました。

杉山町長は「お弁当を届けるという行為の先には皆さんと楽しむ会話がある。気にかけてくれる人がいるという安心感は何物にも代えがたい大事なものです。物だけではなく『心』の奉仕。これからも大切にしてください」と功績を称えました。赤十字奉仕団の皆さん、おめでとうございました。



写真左から、櫻木千恵子さん、杉山町長、井澤玉枝委員長、風間くに江さん

## 赤石太鼓の音色が韓国の空に響きわたりました

### 「日韓おまつり2007 in ソウル」に赤石太鼓保存会が出演

10月20日～21日、大韓民国ソウル特別市で「日韓おまつり2007 in Seoul」が開催され、川根本町の赤石太鼓保存会ジュニアチームが招かれ演奏を披露しました。

「おまつり」という文化を通して日韓両国民の市民交流、未来を担う次世代の若者たちの交流などを目的として、毎回、日本各地で活躍する地域の誇る文化・芸能を披露しています。

赤石太鼓保存会ジュニアチーム13人は、10月20日にソウル中心部で行われたパレード会場で、長胴と竹を使い、溪流のような涼やかさをイメージした曲「涼」を熱演し、集まった韓国の観客に日本太鼓の魅力を存分に伝え、盛大な拍手を浴びました。



観客からはアンコールの声も聞かれました

## 子どもたちが奏でるハーモニーが来場者を魅了

### 10月11日 北地域音楽発表会が開催されました

10月11日、川根町文化会館チャリム21において、「平成19年度北地域小学校音楽発表会」が行われました。この発表会は榛原郡北地域の小学校5校によって行われ、どの学校も、この日のために一丸となって練習してきました。出番を待つ子どもたちからは緊張した様子が伺えましたが、ステージに立つと、歌うこと・演奏することに集中し、会場全体に美しい歌声と元気な音色を響きわたらせていました。会場につめかけた保護者の皆さんは、楽しそうに体でリズムをとりながら、子どもたちの伸び伸びとした合唱奏に聴き入っていました。



(出演：本川根小学校、中川根第一小学校、中央小学校、中川根南部小学校、川根小学校)

榛北地区で初の古民家を活用した心やすまるデイサービスです。



デイサービス **かわね** (いつでも見学できます)

川根本町下長尾262(下長尾駐在所横) TEL:58-6511

一般土木工事・敷地造成・家屋解体・エクステリア・資材販売

**徳山建設株式会社**

見積り無料、お気軽にお問い合わせ下さい

川根本町徳山793番地 TEL 0547(57)2321 FAX 0547(57)2322



写真は本川根小学校の合唱です